

住みよい小山をつくる会 第9回企画会議 議事概要

日時：平成18年9月19日（火） 午後7時～9時10分

会場：小山公民館 調理実習室

1 新テーマ「基地跡地利用」について

(1) 基地返還に関する市からの情報提供

パートナーシップ推進課より、返還予定および共同使用箇所について、資料を基に説明が行われた。

(2) 今後の進め方とスケジュール

進め方のたたき台として、次の5点が提案された。 企画会議の下にワーキングを作り、跡地利用の素案づくりに取り組む。 ワーキングのメンバーは企画会議の数人と、公募や企画会議メンバーの推薦による新たな人材で構成する。 地域の意見をできるだけ反映するために、ワーキングが必要なアンケートなどを実施する。 ワーキングメンバーの募集と住民アンケートの用紙を小山地域の全世帯（約8400戸）に配布する。 つくる会の今後のスケジュールについて事務局案をたたき台として、ワーキングで策定する。

については、メンバーの一部を地域から公募し、企画会議からは数名参加する。 のアンケートは委託業者により全世帯にポスティングする。費用は市が負担する。 のスケジュール案は、来年3月に市に地元意見を提案する予定から逆算して作成しているので、かなりハードな無理な日程になっている。

ワーキング方式について

<主な意見>

- ・自治会などの役員以外で、参加する人がどの程度いるのか。
- ・ワーキング方式でいいと思うが、目先の跡地利用の意見になってしまい、長期的な視点の計画はできないのではないかと。
- ・アンケートの意見をまとめるのは簡単だが、個別の施設をほしいという前に、土地利用のコンセプトをまとめることが必要ではないかと。
- ・3月の末の期限は絶対か。

今までのこの会の議論の中で、概ね3月をめどにという意見があったため、仮に3月を最終として設定した。かなりハードなスケジュールとなる。

- ・行政の動きに遅れないということで3月になったのだと思う。早いほうがよい。
- ・どの程度の意見書にするのかにも左右される。
- ・とにかく地元の意見を出しておくということでもいいと思う。

ワーキング方式を採用し、意見書の内容は地元の意向をまとめた一次案とすることを決定。

企画会議からのワーキング参加者について

<主な意見>

- ・人数はどのくらいを考えているのか。

10人くらいか。作業は公募の人が担当して、企画会議からの参加者はこれまでの経過を踏まえて、ワーキングと企画会議のつなぎ役となり、ワーキングの重石になる。

企画会議から副代表1名と広報部会から2名の合計3名がワーキングメンバーに決定。

ワーキングメンバー募集チラシ・アンケート案について

- ・ポスティングは全戸配布で業者委託だが、回収はどうするのか。

回収方法は公民館に回収ポストを設置する。また、自治会の班長、組長の方にも回収をお願いしたい。

- ・ポスティングはいつ頃からか。

10月第2週頃にポスティングを予定している。業者が配布し3日程度かかる。ワーキングの第1回は10月25日(水)とする。これに合わせてチラシの印刷、ポスティングなどの日程を決める。

- ・アンケート回答とワーキング募集を分けて考えたらどうか。第1回のワーキングは顔合わせとこれまでの経過の理解で作業には入らないから、アンケート回収はこのときに間に合わなくてもよい。

ワーキングメンバー募集チラシと基地跡地利用アンケートはそれぞれ別のものとし、ワーキングメンバー募集チラシは業者委託で全戸配布する。また基地跡地利用アンケートについては自治会回覧と小山地域内の公共機関で配布し、自治会の班長、組長、区長などを通して、あるいは公民館の回収ポストなどで回収することとした。

アンケート項目について

企画会議のメンバーから出された、望まれる基地跡地利用の方法について

- ・美術館、コンサートホール、文化施設、芸術村、市役所・公民館などの公共施設、老人用・子ども用などの多目的施設、高齢者の介護施設、運動場など青少年の居場所、プール・風呂などのある健康文化センター、多目的コミュニティセンター、相模原市の表玄関として相模原の顔になるようなもの、体育施設、大きな緑と公園の空間、小田急相模原駅と駅ビル・百貨店が連携したショッピングモールなど
- ・回答者の属性に性別は必要ないか。
- ・年代別は、世帯対象に配布するなら、回答者は世帯主が中心で中年以上が多くなり、意味があるか。
- ・地域別もいらないかもしれない。

アンケートの属性、質問内容などについては、今日出された意見をもとに、事務局と岸代表と調整する。

スケジュールなど

今後の日程について、第1回ワーキングは10月25日とする。

アンケートのお願いとワーキングへの参加呼びかけチラシは別に配布することとし、チラシは10月25日に間に合うように10月初めに全戸にポスティングする。自治会によるアンケートの配布・回収についてのスケジュールは別途岸代表と調整する。